

5県合同オンライン研修

探究的な学びの実現に向けた協働・共創プロジェクト

東京学芸大学高校探究プロジェクト連携

わくわく
チーム

東京学芸大学高校探究プロジェクト・広島県立教育センター
青森県総合学校教育センター・鳥取県立教育センター
大分県教育庁高校教育課・沖縄県立総合教育センター

探究的な学びについて

地域を超えて学び合い、“わくわく”や“もやもや”を共有しませんか？



第2回 実践発表あり！
探究文化を根付かせる総探

令和7年8月26日（火）実施



研修報告

第2回は、広島と青森の探究学習の実践発表を行いました。
また、参加者が実践発表と自校の取り組みについての気づきを共有しました。

班によるまとめ①

生徒の学びと成長

- 生徒の「できること」に焦点を当て、実践がある。
- 3年間で「知る」「実行する」「挑戦する」を明確にし、つながりを持たせた活動。

地域と教科の連携

- 地域との交流やお祭りでの成果発表。
- 教科と探究の連携を重視し、学びを深める。

教育者の役割とサポート

- 教員が生徒の伴走者・ファシリテーターとして配置されている。
- 定期的な教員の目線合わせやミーティングの実施。

課題解決と評価

- 課題解決が提案で終わらず実行まで行う。
- 評価基準が明確で、やりがいと達成感が感じられる活動。

活動のつながりと発展

- 学年ごとの活動に発展があり、総探と教科のつながりを促進している。



当センター高校教育課の職員三名が、グループワークのファシリテーターを務めて、オンラインでの演習を行いました。

次回予告

第3回

総探と教科の往還、
教科の学びが充実しないと
総探も充実しない！

実践発表あり！

問いたい問いを問う
「教科における探究」

【開催日時】
令和7年10月23日（木）
13:30～16:30



申込みは
こちらへ
←アクセス

班によるまとめ②

学年の学びと教員の役割

- 学年ごとの学びと教員の役割が整理されている。
- 特に1年生では知識と探究スキルの整備が重要視。

やりたいことを見つける支援

- 「やりたいことをやらせる」ことが共通のテーマ。
- 小学校での経験を通じ、高校生でやりたいことを発見。

進路と探究の結びつき

- 手厚い指導が整っており、進路と探究が連携。

伴走者としての大人の役割

- 大人の振る舞いが重要で、良い伴走の蓄積が探究につながる。
- メリット・デメリットの記録と共有で関わり方の気づきが得られる。

地域とのつながりとテーマ設定

- 地域との関係を重視したテーマ設定。
- 生徒が自分事として捉えられる工夫が施されている。

学校全体の取り組み

- 学校全体で学習の充実を目指す取り組みが行われている。
- 地域や大人とのつながりを大切にし、相談しやすい体制づくりを重視。